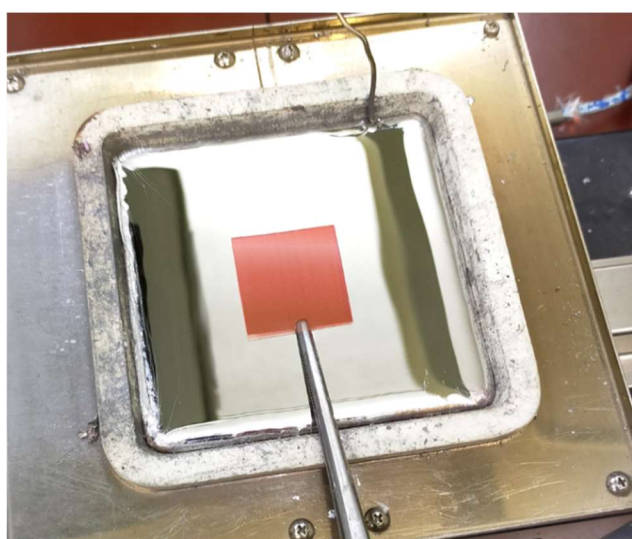


はんだ耐熱・はんだ付け性試験

プリント配線板・銅張積層板・コネクタの試験

プリント配線板の部品実装方法の一つに「浸漬（ディップ）はんだ付け」があります。フラックスを塗布した基板を溶融したはんだ槽に浸漬することで、一度に多量の部品を実装する方法です。

はんだ耐熱性試験は、規定の温度のはんだ浴にサンプルを浸漬し、はんだ付け時の高温にさらされた際のサンプルの耐熱性を評価する試験です。プリント配線板、フレキシブルプリント配線板、プリント配線板用銅張積層板、フレキシブルプリント配線板用銅張積層板、およびこれらの基板材料を対象とします。



フレキシブルプリント配線板用銅張積層板の
耐熱性試験の様子

各種規格に準拠

例としてJIS C6471の試験方法をご紹介します。
温度 $105 \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、1時間の前処理後、速やかに温度 $260 \pm 5^{\circ}\text{C}$ に保たれた溶融はんだ(JIS Z 3282に規定されたH60A又はH63A)にサンプルを5～6秒浮かべます。引き上げた後、目視によってサンプルのよれ、しわ、変色等の外観上の変化を観察します。

また、各種規格に準拠したテストパターンの製作も承ります。

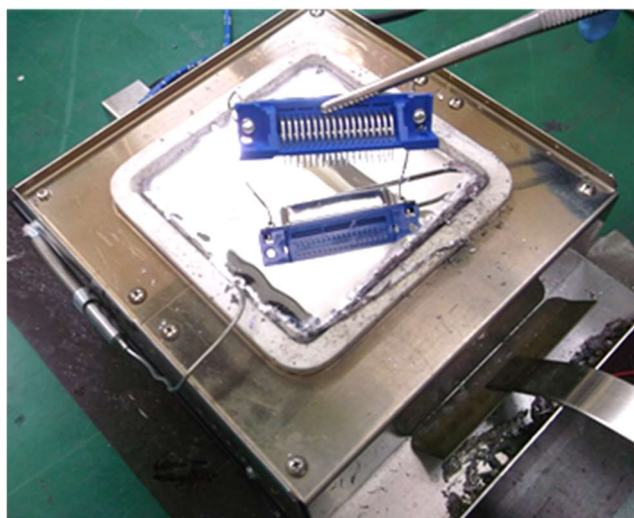
対応規格例	
JIS C5012	プリント配線板試験方法
JIS C5016	フレキシブルプリント配線板試験方法
JIS C6471	フレキシブルプリント配線板用銅張積層板試験方法
JIS C6481	プリント配線板用銅張積層板試験方法
IPC-TM-650 2.4.14	金属表面のはんだ性

鉛はんだ・鉛フリーはんだ両方に対応 希望に沿った試験が可能です

ケミトックスでは、各種規格の他、お客様のご希望に応じた試験にも対応可能であり、鉛はんだ・鉛フリーはんだの両方で試験が可能です。

また、コネクタのはんだ濡れ性試験やはんだの銅喰われ評価にもご活用いただけます。コネクタの評価を実施した例を右図に示します。溶融はんだにコネクタを浸漬し、はんだ熱に対する樹脂ケース部等の耐性および金属端子部のはんだ濡れ性を評価します。

評価後サンプルの故障解析にも対応可能ですので、電子部品の評価に弊社サービスをぜひご活用ください。



コネクタのはんだ耐熱性・はんだ濡れ性試験の様子

お問い合わせ先

Chemitox
株式会社ケミトックス
2022-12

〒145-0064 東京都大田区上池台 1-14-18 東京本社第1ビル
TEL: 03-3727-7111 FAX: 03-3728-1710
担当：須藤 正喜 Email: ma-sudo@chemitox.co.jp
川崎 忍 Email: shi-kawasaki@chemitox.co.jp